

2017年3月27日

南海電気鉄道株式会社
パナソニック株式会社
パナソニック システムネットワークス株式会社

ミナミの新ランドマーク 国内最大級※1デジタルサイネージ 「NAMBA GALLERIA TWIN VISION」

点灯式で百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録PRを行います！

南海電気鉄道株式会社(社長:遠北 光彦)とパナソニックグループ(パナソニック株式会社(社長:津賀 一宏)パナソニック システムネットワークス株式会社※2(社長:片倉 達夫))では、難波駅「なんばガレリア」に、国内の駅設置としては最大級※1(約400インチ相当のマルチディスプレイ2基)の大型デジタルサイネージ「NAMBA GALLERIA TWIN VISION(なんばガレリアツインビジョン、以下「NGTV」)」を設置し、平成29年4月3日(月)から一般広告やPR動画などの放映を開始します。また、放映開始前の3月31日(金)には点灯式を開催し、NGTVを活用した新たなプロモーション展開をご提案します。

南海電鉄の「なんばガレリア」というロケーションと、パナソニックグループの「技術」を合わせた「NGTV」を、ミナミの新しい「顔」、新しい「ランドマーク」として、新たなプロモーション展開をご提案し、なんばエリアの活性化を目指します。

詳細は以下のとおりです。

※1:平成29年3月27日現在、パナソニック株式会社調べ。

※2:平成29年4月1日付でパナソニック システムネットワークス株式会社は、パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社に社名変更する予定です。



大型デジタルサイネージ「NAMBA GALLERIA TWIN VISION(イメージ)

NAMBA GALLERIA TWIN VISION (なんばガレリアツインビジョン)について

1. 設置場所 難波駅なんばガレリア



なんばガレリア
ツインビジョン

◆「なんばガレリア」とは
南海難波駅から地下鉄各線、近鉄線、
阪神線へのメイン動線上に位置し、関
西国際空港アクセスのメイン玄関口にも
なっている大規模な吹抜け空間で、
1日約77万人のお客さまが行き交う
難波エリアの中でも最高のロケーション
です。

2. 放映開始 平成29年4月3日(月)5時～

3. 放映時間 5時から24時まで(19時間)

4. NGTVディスプレイ概要

(1) ディスプレイ規格および放映枠

| 項目 | 仕様 |
|-----------|---|
| 仕様 | 液晶マルチビジョン(55V型ヨコ8面×タテ4面=32面)×2基 |
| サイズ | 55V型×32面(約400インチ) ヨコ約9,714×タテ約2,740mm(1基あたりの面積) |
| 解像度 | ヨコ3,840×タテ1,080ピクセル(32:9/フルHD×2) |
| 表示可能コンテンツ | 動画・静止画(音声も出力可能) |
| 放映枠 | 24枠(1枠15秒の6分ロール)を1週間ごとに契約 |

※放映枠を1社で買い切った場合、放映秒数は随意に対応可能です。

(2) 放映枠に関するお問い合わせ先

株式会社アド南海 TEL:06-6644-7221

5.ロゴマーク



<ロゴマークコンセプト>

「なんばガレリア」の雰囲気に合わせて、CHIC(シック)を意識した色味の中にも、面白みを感じられるデザインにしています。縞や市松模様を取り入れることによって、光が差し込み溶け込んでいく「なんばガレリア」を、どっしりとした文字で、二つの大きな画面(ツインビジョン)の多様性と力強さをイメージしました。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。